

ちどり幼稚園保護者様

学校法人川尻学園ちどり幼稚園  
園長 佐藤恒次

## 自己評価の実施について

令和2年2月21日、ちどり幼稚園会議室に於いて学校関係者評価委員会による評価を実施したところ、下記のような結果になりましたので、報告いたします。

## 令和元年度教育活動に対する学校評価

1. 幼稚園の教育目標 心豊かでたくましい子
2. 本年度の重点目標 “5つのいっぱい”と“育てたい10の力”を関連づけながら『外』と『内』の活動を深める
3. 自己評価と反省、また、それに対する学校関係者評価及び今後の課題

## 幼稚園経営

A はい B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D いいえ

	内 容	評価員	職員
1	園の教育理念や教育方針を理解している	A	B
2	活動に具体的なねらいを設定し、子どもたちが達成感を感じながら取り組めるよう指導している	A	B
3	相手の思いに気づいたり、周囲の人に感謝できる子が育つよう関わりを心がけている “廊下を走らない”姿を、思いやりの気持ちと関連づけながら具体的に指導している	A	A
4	子どもたちの“不思議”への気づきや、発見へのきっかけづくりができるよう環境を工夫し、意図的なはたらきかけを行うとともに“ちどりっこ農園”“ふれあい花の道”“ピオトープ”“広場”などの自然体験を通じた活動を積極的に取り入れている	B	B
5	元気よくあいさつできる子が増えるよう積極的にはたらきかけている	A	A
6	食べ物に興味をもち、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを心がけている	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「廊下を走らない」については、常に教室を出ていく時から呼びかけているが、走ってしまう子がいる為、なぜ走ってはいけないかというのを意識させていく必要がある。</li> <li>・あいさつについては職員がお手本になり、気持ちの良いあいさつができるようにしていきたい。バス乗降口で職員が立ちあいさつするように心がけていきたい。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農園での活動は食育につながっていることを考えると6の項目はA評価が妥当と思われる。</li> <li>・先生たちの自己評価が低い感じがするので、もっと高くてもよいと感じた。副担の先生や、新しい先生の評価が入っている為低いのも仕方ないと思う</li> <li>・子ども同士のあいさつする様子も見られて、とても良い。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつに対しては家庭の協力が不可欠。子どもと一緒に保護者にも、伝えていきたい。</li> </ul>		

## 保育の計画性

	内 容	評価員	職員
1	子どもたちの姿を教育目標に近づけるために、願いや意図を明確にして環境構成をしている	B	B
2	保育の評価・反省を行い、次の保育につなげている	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農園については、子ども達と一緒に整備を行えたことが、良かった。</li> <li>・放課後にやらなければならないことが多く、環境構成まで十分にできていないことに課題がある。</li> <li>・毎月の反省を学年で話し合ってきたが、記録に残しておくのを忘れずに行っていきたい。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達年齢に応じて活動を行っていると思う。</li> <li>・やらなければならないことが多いと思うので、大変な職業だと感じる。子ども達の為に頑張ってもらいたい。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営方針の共通理解が活動内容や環境構成につながっていくという考えをもとに、今後も深めて行きたい。</li> </ul>		

## 保育の在り方・幼児への対応

	内 容	評価員	職員
1	子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、十分な配慮をしている	A	A
2	子どもの姿をよみ取りながら、発達に応じた適切な指導を行っている	A	B
3	教師同士が協力しあったり、意見を交換しあったりしながら共通理解をもって対応している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面については、全職員で行う毎月の点検を徹底している。今後も怪我のないように見守っていきたい。</li> <li>・幼児への対応について、職員間でのばらつきがないよう共通理解をもって接していきたい。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士が話し合うような時間が取れないと思う。共通理解しておくことは大切なことなので行ってもらいたい。そのため、あえてBの評価にさせていただきます。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3の項目はA評価が望ましく、そうするためには職員間の話し合いの場をつくれるよう努力が必要。</li> </ul>		

## 教師としての資質や能力・良識・適正

	内 容	評価員	職員
1	自分自身の行動が、子どもたちに大きな影響を与えていることを意識し、言動・行動に常に気をつかうよう心がけている	A	A
2	組織の一員であることを自覚し、守秘義務の遵守や、職員同士が信頼しあえる関係を築くための配慮をしている	A	B
3	保育のためのアイデアやヒントを得るため、アンテナを高くし環境と関わったり、情報を得たりする努力をしている	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の一員としての在り方や子どもたちへの影響力について意識し、配慮することができた。</li> <li>・職員同士での話し合いや、子どもの情報交換を行うことができた。今後も共通理解について課題があるが、話し合いをもっていく必要がある。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にアンテナをはるのは大変なことだと思うが、意識していくのは大切なことなので続けてほしい。</li> <li>・どの先生も意識して保育を行っているのが分かるので、この項目はA評価で良いと思う。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視野を広げ、情報をとるための努力・行動をする。</li> </ul>		

## 保護者への対応

	内 容	評価員	職員
1	園の方針を理解し、保護者に理解してもらうための努力・工夫をしている	B	B
2	情報を発信するときは、個人・クラス・園全体というさまざまなケースを慎重に見極め、場合によっては園長・主任に相談したうえで適切に対応している	A	A
3	“親しみ”と“馴れ合い”を混同することなく、教育者らしい態度で保護者との関係を築くことを心がけている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎児やクラスだよりなどを利用し、子どもの様子が保護者に伝わるよう工夫し、対応に迷った時は相談しながら対応するよう心がけた。バス通園児の保護者に対しては関われる頻度がすくないため、十分とはいえない。</li> <li>外国人保護者への対応をもっと丁寧に行う必要があると思う。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの先生も同じように子どもへ対応してくれるので安心して預けることができる。</li> <li>外国人への対応は細かくしていかなければならないので大変だと思うが、大切なので頑張してほしい。</li> <li>手紙等で発信していて分かりやすい。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者に対し、子どもの様子や教育内容を伝える工夫をする。直接園に来られない保護者とのコミュニケーションの場の工夫が必要。</li> </ul>		

## 地域の自然や社会とのかかわり

	内 容	評価員	職員
1	幼稚園での生活が、小学校生活の基盤になることを意識し、小学校の教育内容について意識しようとしている	A	B
2	子どもたちの生活は、地域社会や身近な自然、家庭、園生活がひとつづきのものとして、連続性をもちながら成り立っていることを意識し、直接的・具体的体験ができるよう活動内容を工夫している	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児期に育てた力が就学以降につながるよう研究保育・園内研修等で、“育てたい10の力”が意識できる取り組みを行った。小学校との連携は今後の大きな課題になっていくと感じている。</li> <li>地域に支えられている幼稚園として、周囲の自然や環境づくりに対する意識を持つよう心がけてきた。子どもたちと地域の方との直接的な関わりについては、作品展や川尻文化展などへの作品展示という形で行った。</li> <li>農園や、外に出かける活動が多いので、いろいろな方と関わることができているので、これからも続けていきたい。</li> </ul>		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児の活動、モンテッソーリ教育をみると、小学校を意識した取組を行ってくれている</li> <li>おじいちゃん先生、おばあちゃん先生を募集して園への協力をお願いしていく方が良い。それが、地域とのつながりになっていくと思う。</li> <li>隣のコミュニティーケア吉田さんへ歌のプレゼントをしてはどうか。</li> <li>ちどりっこだよりで園の行事などをお知らせしているのはとても良い。モンテッソーリ教育のお便りも広がっていると思う。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での教育内容を知るための取り組みや、園での教育の目的を小学校に理解してもらうための幼小の連携を図りたい。</li> </ul>		

## 研修と研究

	内 容	評価員	職員
1	研修会や研究会には自己課題を持って参加できた	A	B
2	常に質の高い教育の実践を求め、与えられた研修に義務的に参加するだけでなく、自己課題を持つての研修・研究を重ねた	B	B
3	モンテッソーリ教育への理解を深め、援助者としての接し方が身に着くよう努力した	A	B
4	幼小の円滑な接続を意識し、幼児教育カリキュラムに基づいた実践が出来るよう、前向きな姿勢で研修に取り組んだ	A	B

反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に対しては、園内研修の時間を設け資質を向上させるための取り組みを行っている。</li> <li>・普段の活動とモンテッソーリ教育で行っていることが共通理解を持って行われているかについては、疑問がある。今後、話し合いを持ち、モンテッソーリ教育のカリキュラム作成をすることで、さらに理解できるようにしていきたい。</li> <li>・職員研修として全体で行う活動を取り入れたことが、能率的で良かった。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度と違う研究保育を行い、挑戦しているのがとても素晴らしいと思う。</li> <li>・モンテッソーリ教育が、地域の方や、保護者にも認知されてきている。素晴らしい教育であることをもっと発信していくと良い。</li> <li>・モンテッソーリ教育だよりを通して理解を深めていきたい。</li> <li>・A評価でもよいが、先生たちの、“もっと”という気持ちを大切にして、B評価にした。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに研究を重ね、より良い教育ができるようにしていく必要がある。</li> <li>・モンテッソーリ教育を職員が学び、さらに子ども達に深めていく。</li> </ul>

## その他

反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、同じ反省をしているので、一つひとつ、出来そうなところから課題に取り組んでいきたい。</li> <li>・自宅での仕事が多いため、効率よく進めるにはどうしたら良いかが課題である。</li> <li>・他の園を見たり、研修会等、積極的に参加をして視野を広げていきたい。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノロウイルスなどの感染症がでたら、家族で注意することができるので早めに知らせてほしい。</li> <li>・もっと自信をもって、職員一人ひとりが教育してくれば良い。それが子ども達につながると思う。</li> </ul>